

## 第 2 2 課 スキーを かりる ところは どこですか

1. Kako opišemo ali bolj natančno določimo to, kar izraža samostalnik?
2. Katere členke uporabljamo v prisamostalniškem odvisniku?

### ゲレンデで (1) Na smučišču (1)

スキーを <sup>か</sup> かりる ところは どこですか。

あそのの、「スムチュケ[smučke]」と  
<sup>か</sup>書いた かんばんが ある ところです。



# 新しい言葉 Nove besede

## Glagoli

着ます	き「ま」す	き「る	き「て	V1	obleči
			シャツを きる obleči si srajco; シャツを きて いる imeti na sebi srajco		
	は「きま」す	は「く	は「いて	V5	obuti; obleči (od pasu dol)
			ズボンを はく obleči si hlače; ズボンを はいて いる biti oblečen v hlače, imeti na sebi hlače; くつをはく obuti čevlje; くつをはいて いる biti obut, imeti čevlje na nogah; あかい くつをはいて いる 女の子 deklica z rdečimi čevlji		
	か「ぶりま」す	か「ぶ」る	か「ぶ」って		nadeti si, pokriti se z
			ぼうしを かぶる nadeti si klobuk; ぼうしを かぶっている imeti klobuk na glavi; ぼうしを かぶっている 人 človek s klobukom (na glavi)		
	か「けま」す	か「け」る	か「けて	V1	nadeti si (očala)
			めがねを かける nadeti si (očala); めがねを かけて いる 人 človek z očali na nosu		
持って 行きます	も「って」いきます	もって「い	もって「いて	V5	vzeti (kaj) s sabo
持って 来ます	も「って」きます	もって「く	もって「きて	V	prinesti (kaj) s sabo

## Samostalniki

リフト券	り「ふと」けん	vozovnica za vlečnico
	ス「キーレ」ンタル	izposoja smuči
看板	か「んばん	znak, tabla, napis
服	ふ「く	obleka
	コ「ート	plašč
	セ「ーター	pulover, majica, jopa
	ジャ「ケット	jopa
	ワ「ンピ」ース	ženska obleka
	ス「ーツ	kostim, formalna obleka
帽子	ぼ「うし	kapa, klobuk, čepica
	へ「ルメ」ット	čelada
眼鏡	め「がね	očala
約束	や「くそく	obljuba, zmenek, obveznost

ことば れんしゅう  
言葉の練習

Vaja za utrjevanje besedišča

A. 絵を見て正しい言葉を書いてください。 Vpišite ustrezne glagole k slikam.



例) ( きます )

1) ( )

2) ( )



3) ( )

4) ( )

B. Kateri glagoli se uporabljajo za naslednje predmete? Dopišite ustrezne samostalnike in glagole!

「きます」 / 「はきます」 / 「かぶります」 / 「かけます」



例) ジャケットを きます。 1)

2)



3)

4)

あたらしいぶんけい  
新しい文型 Novi stavčni vzorci

## 1. Modificiranje samostalnikov - prisamostalniški odvisniki

- Kako opišemo ali bolj natančno določimo to, kar izraža samostalnik?

S [stavek s povedkom v neformalni obliki] N

To, kar izraža samostalnik, lahko bolj natančno določimo s pridevniki, ki stojijo pred samostalnikom, ali s samostalniki, ki jih povežemo s členkom の, kot smo videli v prejšnjih lekcijah. Tako pridevniki kot drugi samostalniki, ki opredeljujejo glavni samostalnik, stojijo pred njim. Samostalnik lahko opredelimo tudi z glagolom, ki ga v japonščini (za razliko od slovenščine) ravno tako postavimo pred samostalnik, na katerega se nanaša.

a)	N の N	リュブリャーナ大学の 学生	<i>študent Univerze v Ljubljani</i>
b)	Ana な N	しんせつな 先生	<i>prijazen profesor</i>
c)	Ai い N	あたらしい 先生	<i>novi profesor</i>
d)	V る N	いつも おくれる 先生	<i>profesor, ki vedno zamuja</i>
e)	V ない N	きかない 学生	<i>študent, ki ne posluša</i>
f)	V て いる N	ねて いる 学生	<i>študent, ki spi</i>

Povedek (pridevnik ali glagol), ki stoji pred samostalnikom, je lahko del daljšega stavka. Pri pridevniki smo to že spoznali pri vzorcu NはNがAiです (npr. ヤンさんは せが たかい です) oz. せが たかい 人 v lekcijah 9 in 12. Tudi glagoli, ki stojijo pred samostalnikom in se nanj nanašajo, so lahko del daljšega vzorca.

g)	stavek N	かみが ながい 先生	<i>profesor z dolgimi lasmi / ki ima dolge lase</i>
h)		かみが ない 先生	<i>profesor brez las / ki nima las</i>
i)		知らない 先生	<i>profesor, ki ga ne poznam</i>
j)		この 本を 書いた 先生	<i>profesor, ki je napisal to knjigo</i>
k)		ワインが 好きな 先生	<i>profesor, ki ima rad vino</i>
l)		いっしょに バスに のった 先生	<i>profesor, ki je šel (z nami) na avtobus</i>
m)		いっしょに えいがを みた 先生	<i>profesor, s katerim smo gledali film</i>
n)		見たい えいが	<i>film, ki bi si ga rad ogledal</i>
o)		見たことが ない えいが	<i>film, ki ga nisem še nikoli videl</i>
p)		マンガを うって いる 本屋	<i>knjigarna, kjer prodajajo stripe</i>

V slovenščino se tak odvisnik običajno prevede s slovenskim oziralmnim odvisnikom, ki pa stoji za samostalnikom in je s samostalnikom povezan preko različnih oziralmnih zaimkov (ki ga, ki mu, ki jih, kjer, kadar, ipd.). V japonščini je to povezovanje veliko bolj preprosto: odvisni stavek s povedkom (t.j. glagolom ali pridevnikom) v neformalni obliki samo postavimo tik pred samostalnik, na katerega se nanaša, in s tem dobimo prisamostalniški ali adnominalni odvisnik.

練習 1-1 例のように 文を 作って ください。



例) これは えんぴつを 入れる ものです。

1) この 人は \_\_\_\_\_ 先生です。

2) ここは \_\_\_\_\_ ところです。

3) ここは \_\_\_\_\_ おみせです。

4) これは \_\_\_\_\_ 本です。

5) これは \_\_\_\_\_ くつです。

練習 1-2 人ですか。 ものですか。 ところですか。



例 1)

例 1) ものです。 <sup>まいにち</sup>毎日 <sup>よ</sup>読む ものです。 (答え: <sup>こた</sup>しんぶん)

例 2) 人です。 日本語を おしえる 人です。 (答え: <sup>こた</sup>日本語の先生)

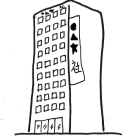
例 3) ところです。 日本語を 勉強する ところです。 (答え: <sup>こた</sup>きょうしつ 教室)

L 22 スキーをかりるところはどこですか

1)



2)



3)



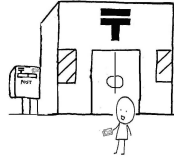
4)



5)



6)



7)



8) ?

1) \_\_\_\_\_です。\_\_\_\_\_。

2) \_\_\_\_\_です。\_\_\_\_\_。

3) \_\_\_\_\_です。\_\_\_\_\_。

4) \_\_\_\_\_です。\_\_\_\_\_。

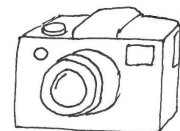
5) \_\_\_\_\_です。\_\_\_\_\_。

6) \_\_\_\_\_です。\_\_\_\_\_。

7) \_\_\_\_\_です。\_\_\_\_\_。

8) \_\_\_\_\_です。\_\_\_\_\_。

練習 1-3 例のように 文を 作って ください。



例) 【カメラ／とうきょうで 買いました】 →これは とうきょうで 買った カメラです。

1) 【じしょ／先生に かりました】 →

2) 【カバン／母に もらいました】 →

3) 【しゃしん／フランスで とりました】 →

4) 【本／きのう 読みました】 →

5) 【うた／コンサートで ききました】 →

## 2. Členki znotraj odvisnika - Katere členke uporabljamo v prisamostalniškem odvisniku?

Znotraj takega odvisnika ne uporabljamo tematskega členska は, pač pa samo sklonске členke, kot so が, を, に, で, から, まで ipd. Samostalničnik, ob katerem stoji členek は, je namreč tema stavka, na katero se nanaša glavni povedek. Primerjajmo:

- a) 石川先生は 本を かきました。 *Prof. Ishikawa je napisala knjigo.*  
 b) 石川先生が かいた 本は おもしろいです。 *Knjiga, ki jo je napisala prof. Ishikawa, je težka.*

Prisamostalniški odvisniki se lahko pojavijo ob kateremkoli samostalničniku v stavku, naj bo to osebek, predmet ali drugo. V spodnji tabeli so prisamostalniški odvisniki podčrtani.

N は N です	これは コンピュータです。	<i>To je računalnik.</i>
N は SN です	これは <u>私の ともだちが つくった</u> コンピュータです。	<i>To je računalnik, ki ga je zgradil moj prijatelj.</i>
N は N です	あの 人は 日本たいしです。	<i>Tisti človek je japonski veleposlanik.</i>
SN は N です	あの <u>新聞を 読んで いる</u> 人は 日本たいしです。 あの <u>石川先生と 話して いる</u> 人は 日本たいしです。	<i>Tisti človek, ki bere časopis, je japonski veleposlanik.</i> <i>Tisti človek, ki govori s prof. Ishikawa, je japonski veleposlanik.</i>
N は Ai/Ana です	この 本は おもしろいです。	<i>Ta knjiga je zanimiva.</i>
SN は Ai/Ana です	この <u>石川先生が 書いた</u> 本は おもしろいです。	<i>Ta knjiga, ki jo je napisal prof. Ishikawa, je zanimiva.</i>
N は N を V	私の 父は <u>すしを</u> 食べません。	<i>Moj oče ne je sušija.</i>
N は SN を V	私の 父は <u>私が 作った</u> <u>すしを</u> 食べません。	<i>Moj oče ne je sušija, ki ga pripravim jaz.</i>
N は N を V	<u>スロベニア人</u> は <u>すしを</u> 食べません。	<i>Slovenci ne jejo sušija.</i>
SN は N を V	<u>私が して いる</u> <u>スロベニア人</u> は <u>すしを</u> 食べません。	<i>Slovenci, ki jih jaz poznam, ne jejo sušija.</i>
N は N が V	<u>日本人</u> は <u>かんじを 書く</u> ことが できます。	<i>Japonci znajo pisati kitajske pismenke.</i>
SN は N が V	<u>学校で</u> <u>かんじを ならった</u> <u>日本人</u> は <u>かんじを 書く</u> ことが できます。	<i>Japonci, ki so se kitajskih pismenk naučili v šoli, znajo pisati kit. pismenke.</i>
N は N に V	きのう 私は <u>みやざきはやおに</u> 会いました。	<i>Včeraj sem srečala Hayaa Miyazakija.</i>
N は SN に V	きのう 私は <u>みやざきはやおを 見た</u> ことが <u>ある</u> 人に 会いました。	<i>Včeraj sem srečala človeka, je nekoč videl Hayaa Miyazakija.</i>
N は V	その 学生は、立って ください。	<i>Študentje tam, vstanite.</i>
SN は V	<u>しゅくだいを わすれた</u> 人は、立って ください。	<i>Študenti, ki ste pozabili nalogo, vstanite.</i>

Vzorca, ki smo ju spoznali v lekciji 18, (N は) V る ことが できます in しゅみは (N を/N で) V る こと  
 です sta pravzaprav le primera prisamostalniških odvisnikov ob samostalničniku こと.

練習 2-1 例のように 文を 作って ください。

例) 【てがみ／かきます／時間】 → てがみを かく 時間が ありません。

1) 【かんじ／勉強します／時間】 →

2) 【えいが／見に 行きます／時間】 →

3) 【パーティー／着ます／ふく】 →

4) 【きのう／買いました／本】 →

5) 【友だち／かりました／CD】 →



練習 2-2 どんな ロボットが ほしい ですか？ それは どうしてですか。

例) 私は そうじする ロボットが ほしいです。

私は そうじする 時間が ありませんから／私は そうじが きらいですから。

- \_\_\_\_\_。
- \_\_\_\_\_。
- \_\_\_\_\_。
- \_\_\_\_\_。

練習 2-3 だれですか。

クラスメートの 中で 一人を えらんで、 みんなに しょうかいして ください。

Izberite nekoga v razredu in ga predstavite ostalim.

ほかの 人は その 人を あてて みて ください。

Ostali naj poskusijo uganiti, koga ste predstavili.

例) わたしが えらんだ 人は [tisti, ki sem ga izbral]、めがねを かけて いる 人です。

- \_\_\_\_\_。
- \_\_\_\_\_。
- \_\_\_\_\_。
- \_\_\_\_\_。





## 練習 2-4 どんな 人ですか。

あなたの りそうの [idealni] <sup>だんせい</sup>男性／<sup>じょせい</sup>女性は どんな <sup>ひと</sup>人ですか。

ほかの 人にも きいて ください。そして、聞いた ことを 書いて ください。

あや：「私の りそうの 男性は しんせつな 人です。

そして ハンサムな 人です。

そして お金を たくさん もっている 人です。

そして りょうりを よく つくる 人です。」

あやさん	わたし	さん	さん
しんせつ			
ハンサム			
お金を たくさん もって いる			
りょうりを よく つくる			

おおばさんは、自分の りそうの 男性は しんせつで、ハンサムで、お金を たくさん  
もっていて、りょうりを よく つくる 人だと 言いました。

\_\_\_\_\_さんは、\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_と 言いました。

\_\_\_\_\_さんは、\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_と 言いました。

\_\_\_\_\_さんは、\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_と 言いました。

Jan Hočevar, Milan Maček in Ōba Aya so na smučišču.

あや : わあ、いい <sup>てんき</sup> 天気ですね。

ヤン : よく <sup>は</sup> 晴れました。

あや : あのう、リフト券 <sup>けん</sup> を <sup>か</sup> 買う ところは どこですか？

ヤン : あの <sup>たてもの</sup> 建物の <sup>なか</sup> 中です。

あや : スキーを <sup>か</sup> 借りる ところは どこですか。

ミラン : あそこに 「スキーレンタル [ski rental]」 と <sup>か</sup> 書いた <sup>かんばん</sup> 看板が  
あります。そこで スキーを <sup>か</sup> 借ります。

あや : じゃ、ちょっと <sup>い</sup> 行って きます。

ヤン : ぼくたちは リフト券 <sup>けん</sup> を <sup>か</sup> 買って きます。

あの <sup>ちず</sup> 地図の <sup>かんばん</sup> 看板が ある ところで 会いましょう。

あや : わかりました。じゃ。



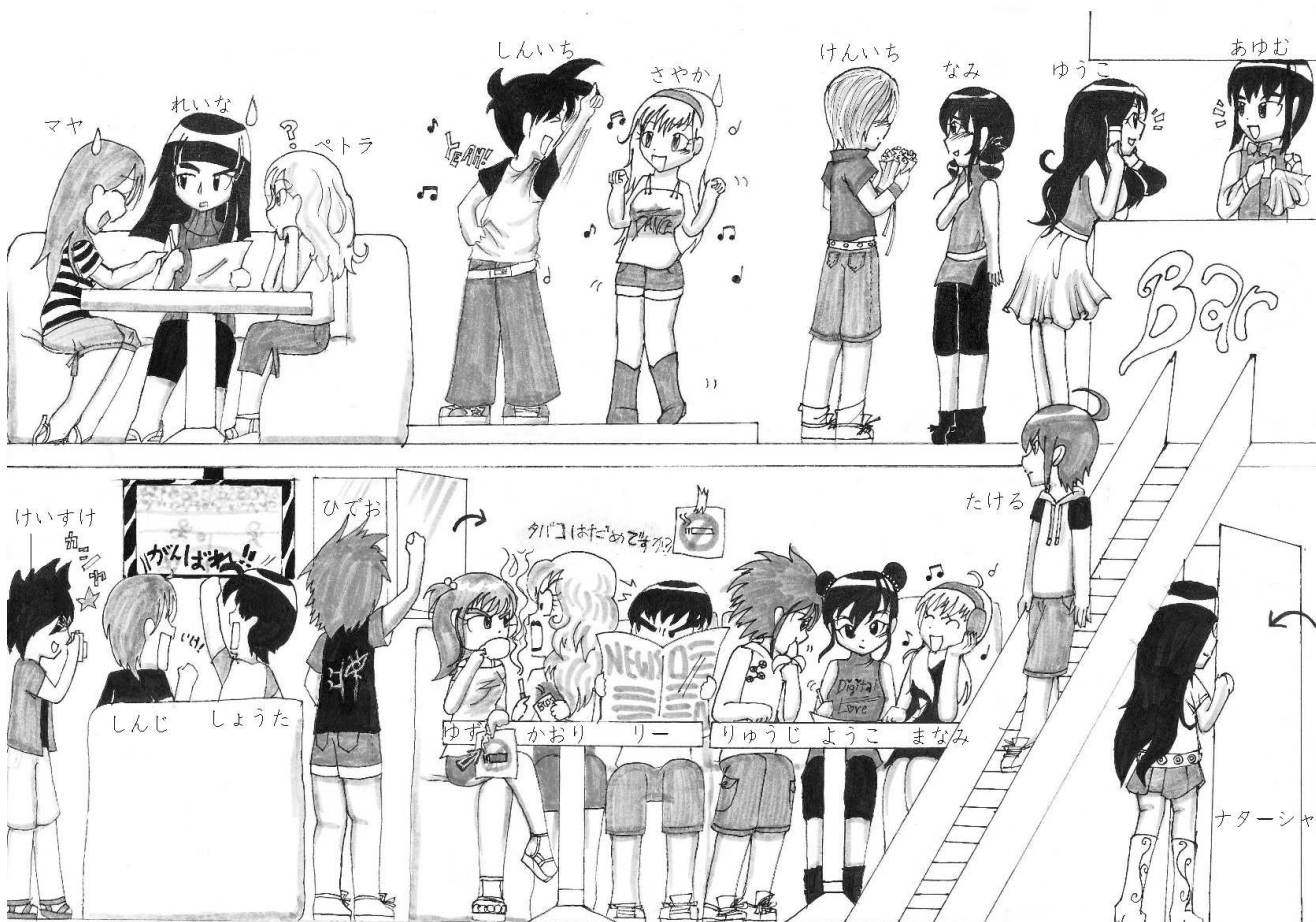
はってん

# 発展 Poskusimo!

1. 絵を見て 言って ください。

例) A: しんじさんは どの人ですか。

B: しんじさんは テレビを 見ている 人です。



2. 話して ください。 Glejte primer in sprašujete po imenih ljudi na sliki.

例) A: コーヒーを飲んでいる人は だれですか。

B: ゆずさん です。

ふくしゅう

## 復習 Ponovimo!

### 1. ( ) に 助詞<sup>じょし</sup>を 書いて ください。

例) 今日 ミルク( を ) 飲みました。

1) くつ( ) ぬいで ください。

2) 私は ビール( ) ワイン( ) 好きです。

3) これは 女の人( ) 読む 本です。

4) にわで パーティー( ) できる 家( ) ほしいです。

### 2. 下から ことばを えらんで 正しい ことばに なおして ください。

きます 行きます 食べます かけます はきます かぶります 読みます

例) シュテフィさんは あかい セーターを ( きて いる ) 人です。

1) めがねを( ) 人は 私の 父です。

2) あおい ぼうしを( ) 人は だれですか。

3) 日本語の 先生は、長い スカートを( ) 人です。

4) ミランさんは 日本へ 勉強しに( ) と 思います。

5) ごはんを( ) 前、「いただきます」と 言います。

### 3. 文を かんせいして ください。

1) 日曜日には\_\_\_\_\_ やくそくが あります。

2) けさ 10 時に おきましたから、\_\_\_\_\_ 時間が ありませんでした。

3) 私は\_\_\_\_\_ 人が 好きです。

4) \_\_\_\_\_ ふくを 見せて ください。

### 4. 答えて ください。

1) あさ、新聞を 読む 時間が ありますか。

2) あなたが 生まれた ところは どこですか。

3) どんな しごとが したいですか。

4) あなたが さいきん 読んだ 本は 何ですか。